

## 第 4 回 函館市観光振興財源検討委員会 議事概要

## 1 開催日時，場所

(1) 日 時 令和元年 11 月 20 日 (水) 18:00 から 19:15 まで

(2) 場 所 市役所本庁舎 8 階第 1 会議室

## 2 議事

(1) 第 3 回検討委員会議事録の承認について

(2) 提言の取りまとめについて

ア パブリックコメントおよび意見交換会実施結果について

イ 提言の取りまとめについて

(まとめ)

- ・ パブリックコメントは，委員会として回答を付したものを資料(案)としている。修正点がなければ，ホームページで公表する。
- ・ 観光振興のための財源確保の手法については，宿泊税の導入に向けた提言とし，導入にあたって留意すべき点として，これまで出た意見を付言として取りまとめ，次回の検討委員会に提言書(案)を提示する。

(意見)

- ・ 宿泊税の導入までには時間があるので，用途について市民やホテル業界の方に理解していただくよう努力が必要だと思う。
- ・ 今後，客室数が 3,000 室増えるだろうと言われており，観光客数が 700 万人にならないと，残っていけないホテルが出てくる。  
用途については，700 万人の観光客数を見込むために，何をすればいいかということ，考えていければよいと思う。
- ・ パブリックコメント，意見交換会で，厳しい意見が出ているが，一定の配慮があれば受け入れている意見も多くあると感じた。
- ・ 制度設計については，簡素で明快にするべき。
- ・ 航空便の増など，函館市の部局間で連携して観光を考えないと，全体として統一した議論ができないと感じている。
- ・ 宿泊税を納税するのは宿泊客になるので，きちんと理解して支払ってもらえるよう，周知広報を工夫して，広く浸透される取り組みをお願いしたい。
- ・ 宿泊事業者のシステム改修の支援や，入湯税の軽減もしっかり議論すべきである。

- ・ 函館市が定額制にするのであれば、料金の安いお客さんを救うため、免税点を設けて欲しい。
- ・ 制度設計は、メリット・デメリットを調べて、この地域にふさわしいものを決めて欲しい。
- ・ 制度設計は簡素がいいと感じており、定額制が簡素だと思っている。他地域を調べて、よりよい制度にして欲しい。
- ・ 宿泊税が増えた分、他に財源が回されることがないように、事業者の方に恩恵があるよう制度設計できればよいと思う。
- ・ 免税点については、免税点を下回るような価格設定を助長することもあるし、価格の相場は、年によって変わることもあるので、その点も含めて検討すべきである。
- ・ 細かい部分を検討委員会で話し合っ決めてのものではないと思う。  
提言としては、事業者の意見を聞きながら、細やかな配慮を行う、意見を反映する、という言葉が入っていいと思う。
- ・ 観光客に来てもらえるような取り組みに財源を使うためにも、できる限り速やかに宿泊税を進めて欲しい。
- ・ 資料に他都市の使途が出ているが、これは各都市の観光振興上の課題だと思う。函館も同じように課題があると思うので、使途については、予算は限られるので、優先順位をつけて進めるべきである。